

令和5年度 第1回八千代市観光振興懇談会 会議録

- 1 会議名 令和5年度第1回八千代市観光振興懇談会
- 2 日時 令和5年10月27日（金）14時15分～16時05分
- 3 場所 八千代市役所 旧館4階 第2委員会室
- 4 議題 (1)八千代市観光振興について
- 5 出席者 **【委員】**
八千代商工会議所副会頭 田久保 渡
八千代商工会議所事務局長 高橋 英治
八千代市農業協同組合経済部 村山 茂樹
一般社団法人八千代市観光協会会長 杉山 智基
京成バラ園芸株式会社ガーデン部部长 渡邊 智裕
秀明大学観光ビジネス学部長教授 市川 友英
秀明大学観光ビジネス学部准教授 樋口 誠司
市 民 委 員 土屋 雛乃

【事務局】
経済環境部長 加藤 博士
商工観光課観光推進室長 田中 正孝
観光推進室主査 佐藤 裕次
観光推進室主任主事 富田 俊一郎
観光推進室主事 長谷川 恵梨
- 6 公開又は非公開の別 公開
- 7 傍聴人 1人（定員5人）

事務局（長谷川）

それではこれより、令和5年度第1回八千代市観光振興懇談会を開会いたします。本日、進行を務めます観光推進室の長谷川と申します。よろしくお願ひいたします。

会議に先立ち、会議資料等の確認をお願いします。

本日の配布資料は、

「次第」、

「席次」、

「八千代市観光振興懇談会委員名簿」、

「八千代市観光振興懇談会設置要領」、

クリップ止めの資料一覧、

参考資料としてチラシ等一式 となります。

足りない資料はございませんでしょうか。

続きまして、本日は、初めて委員になられた方もいらっしゃいますので、本懇談会について簡単にですが、ご説明をさせていただきます。

配布している「八千代市観光振興懇談会設置要領」をご覧ください。

八千代市観光振興懇談会設置要領第2条において本懇談会で意見交換する事項が定められておりますので、読み上げさせていただきます。

第1項 観光資源の発掘に関すること

第2項 本市の観光の基本的方針に関すること

第3項 本市の観光事業の実施及び検証に関すること

第4項 その他本市の観光に関し必要な事項

と規定されております。

このことから、本懇談会では「審議の場」としてではなく、「意見交換の場」として、本市の観光振興を図るための参考とさせていただきます。

また、本会議は「八千代市審議会等の会議の公開に関する要領」に基づき、公開の会議となっており、会議録作成のため、会議の内容を録音させていただきますのでご了承ください。そのため、個人情報に関わる事項や、特定の企業・団体に利益・不利益となる発言につきましてはご留意いただきますようお願いいたします。

続きまして、発言の際のマイクの操作についてご説明いたします。皆様の机の前に置いてありますマイクが「議事録作成支援システム」となっております。こちらを使用して、議事録を作成します。

手前のシルバーのところスイッチになっておりますので、発言をする際は、こちらを押してください。スイッチを押すと、赤く光りますので、それからご発言をお願いいたします。話し終わりましたら、再度ボタンを押す必要はありません。次の発言の方がボタンを押すと、前に話した方のマイクの赤い光は消え、次の方に発言が移りますので、よろしく申し上げます。

なお、会議中の発言につきましては、座ったままのご発言で構いません。事務局説明等についても座ったままで進めさせていただきます。

次に、傍聴される方にお願ひします。会議の傍聴にあたりましては、「傍聴証」裏面の記載事項を遵守の上、傍聴をお願いいたします。

それでは、本日の会議は、設置要領第6条第3項の規定に基づき、出席委員は8名であり、委員の過半数の出席をいただいておりますので、会議として成立しております。なお、宮崎委員、田中委員、柏木委員におかれましては、欠席の連絡を受けております。

続きまして、懇談会の開催にあたり、経済環境部長の加藤よりご挨拶を申し上げます。

加藤経済環境部長

改めまして、経済環境部長の加藤でございます。本日はご多忙のところ、ご出席いただき誠にありがとうございます。会議に先立ちまして一言申し上げます。

本日の会議は会長並びに副会長の選出、議題としては「八千代市観光振興について」となっております。本市の魅力発信、及び観光振興の充実を図るために、皆様の忌憚のないご意見をいただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局（長谷川）

続きまして、事務局の紹介をいたします。

先ほどご挨拶させていただいた経済環境部長の加藤です。

商工観光課観光推進室長の田中です。

観光推進室の佐藤です。

観光推進室の富田です。

そして、私、観光推進室の長谷川です。よろしくお願い申し上げます。

続きまして、次第4『会長及び副会長の選出』に移ります。設置要領第5条の規定におきまして、会長及び副会長は委員の互選により定めると規定しております。

また、第6条の規定で、懇談会は会長が招集し、会長が会議の議長を務めると定めておりますことから、委員の皆様のご意見を頂戴したいと思います。

皆様いかがでしょうか。

高橋会長

私の方からは、引き続き、地元の大学の教授である市川委員を会長に推薦したいと思います。

事務局（長谷川）

只今、市川委員を会長にというご提案がありましたが皆様いかがでしょうか。

【異議なし】

事務局（長谷川）

異議が無いようですので、市川委員に会長をお願いしたいと思います。市川委員、お引き受けいただけますでしょうか。

市川委員

了承いたしました。

事務局（長谷川）

市川委員、ありがとうございます。

続いて、副会長の選出となりますが、委員の皆様いかがでしょうか。

市川会長

副会長については、八千代市観光協会の杉山委員を推薦したいと思います。

事務局（長谷川）

只今、杉山委員を副会長にというご提案がありましたが皆様いかがでしょうか。

【異議なし】

事務局（長谷川）

異議が無いようですので、杉山委員に副会長をお願いしたいと思いますが、杉山委員、お引き受けいただけますでしょうか。

杉山委員

はい、かしこまりました。

事務局（長谷川）

ありがとうございます。

会長に市川委員，副会長に杉山委員とさせていただきます。

それでは市川会長には，議長席に移動していただきます。

それでは，会長，副会長が選任されましたので，市川会長，続いて，杉山副会長にご挨拶をお願いしたいと思います。

市川会長

会長にご指名いただきました秀明大学の市川です。

委員の皆様のご協力をいただきまして，円滑な議事進行に努めたいと考えておりますので，どうぞよろしくお願いいいたします。

事務局（長谷川）

ありがとうございます。続きまして，杉山副会長，ご挨拶をお願いいたします。

杉山副会長

副会長に選出いただきました杉山と申します。観光協会といたしまして，前期の懇談会からも参加しており，観光振興計画ができた経緯等も勉強しているつもりでございますので，引き続き尽力してまいりますのでよろしくお願いいいたします。

事務局（長谷川）

ありがとうございます。

それでは、このあとの議事進行につきましては、設置要領の第6条の規定に基づき、市川会長にお願いします。市川会長、よろしくお願いします。

市川会長

それでは、早速ですが議題に入りたいと思います。

本日の議題は1件となります。議題1『八千代市観光振興について』、事務局より説明をお願いします。

事務局（田中観光推進室長）

はい、観光推進室長の田中でございます。私から、議題1『八千代市観光振興について』ご説明いたします。

お配りしましたクリップ留めの資料2枚目、A3サイズ2枚の「八千代市観光振興計画（概要版）」及び、お持ちの方は「八千代市観光振興計画」をご覧ください。まず、はじめに、今回初めて委員になられた方もいらっしゃいますので、令和3年度に策定された八千代市観光振興計画について簡単にご説明いたします。

八千代市は、都心までのアクセスが良く首都圏のベッドタウンとして発展し、令和2年には人口が20万人を超える都市に成長しましたが、令和7年をピークに人口減少することが予測されています。ただ、こちらにも計画策定時の数値となっております。今年3月に改定されました「八千代市人口ビジョン」では、令和11年をピークに人口減少することが予測されております。これらを踏まえ、計画的な観光振興、地域の賑わいの維持、継続に取り組むために、令和3年度に「八千代市観光振興計画」を策定いたしました。

この計画は令和6年度までの3年間を計画期間としており、八千代市の観光ビジョンとキャッチコピーを定め、6つの基本方針とそれに基づく主要施策などを掲げています。詳しい内容につきましては、「八千代市観光振興計画」25ページ以降及び「八千代市観光振興計画（概要版）」2ページに記載をしております。

続きまして、計画の推進状況を報告させていただきます。

計画策定から2年目となる今年度10月現在までの取り組みといたしましては、これまでと同様に、京成バラ園や、新川及び道の駅やちよ周辺のイベントのPR、ココシルやちよやYouTubeなどSNSを活用したPR、近隣自治体との意見交換会への参加などを行いました。

また、新たな取り組みといたしまして、1つ目は、「八千代市観光振興計画」36ページをご覧ください。

基本方針3「新たな観光資源の発掘」の主要施策1「既存の観光資源の高付加価値化やブラッシュアップ」の事業展開例3つ目にあります「ダイヤモンド富士イベントの活用」についてです。

今年の2月14日に4年ぶりに「ダイヤモンド富士鑑賞会イベント」を開催いたしました。例年2月14日のバレンタインデーに、富士山頂に夕陽が重なる「ダイヤモンド富士」を、ユアエルム八千代台店の屋上から鑑賞することができることから始まったイベントで、天候や新型コロナウイルス感染症の影響により4年ぶりの開催となりました。今回も富士山に雲がかかってしまい、ダイヤモンド富士の観賞には至りませんでした。当日は約230人が来場されました。

今年度も開催する予定ではありますが、天候に左右されることや、観賞チャンスが数日あることから、イベントの開催方法については検討してまいります。

2つ目の取り組みといたしましては、「八千代市観光振興計画」37ページをご覧ください。

基本方針4「自然環境を利活用した観光の推進」の主要施策2「自然を利活用した多種多様なアクティビティへの取り組みの推進」の事業展開例2つ目にあります「観光船運航に向けた検討」の一環として、今年の3月に、観光船運航の実証実験を行いました。懇談会の委員の皆様や関係者の方々に、道の駅やちよから平戸橋あたりまで、往復30分ほど、ご乗船いただきました。

ちょうど河津桜の開花の時期であり、船上から桜を鑑賞できて良かったが、桜の時期以外は退屈しそうである、など、様々な意見をいただきました。今回の結果を踏まえ、観光船事業について引き続き、検討してまいります。

3つ目の今年度の取り組みといたしましては、「八千代市観光振興計画」39ページをご覧ください。

基本方針6「観光によるシビックプライドの醸成」の主要施策1「三大祭を中心とした市民参加の観光の推進」及び、主要施策3「子どもたちに対する八千代市観光への関心の醸成」に関連することとして、今年の8月26日に「八千代ふるさと親子祭」を開催いたしました。4年ぶりということもあり、ステージイベント等は行わず、出店と打ち上げ花火のみを実施いたしました。約17万人が来場し、大盛況に終わりました。

また先週の10月21日、22日に開催されました「八千代どーんと祭」では、この計画のビジョンにも掲げている「花の観光都市」をテーマに、観光推進室としてブースを出展いたしました。八千代市観光協会や、バラや桜など花に関連する団体の皆様にもご協力いただき、当日はパンフレット等の配架、子ども向けの簡単なワークショップなどを実施し、多くの方にご来場いただきました。

主な基本方針の取組状況については以上となります。

続きまして、観光振興計画の進捗管理についてご説明いたします。クリップ留めの資料3点目、A4サイズ1枚でお配りしている「八千代市観光振興計画 数値目標管理」をご覧ください。

こちらは計画推進の達成度を把握するために目標を数値化したものと、進捗状況を記載したものになります。

表には4年分の数値を記載しております。表の1番左の数値につきましては、計画策定時の現況値でございます。表の左から2番目、3番目に記載の数値については、一昨年度及び昨年度の状況を記しております。

すでに目標値を超えているものもあり、順調といえます。

しかし、八千代市観光推進室ホームページのアクセス数の減少につきまして、理由は2点あると考えております。1点目は、市ホームページの仕様変更に伴い、旧ホームページのアクセス数カウントを取得できず、2022年5月から12月の8か月分の閲覧数が反映されていないこと、2点目は、これまではホームページ上で桜の開花状況の写真を公開しておりましたが、SNSを利用して開花状況の公開を始めたことから、ホームページ閲覧者が減少したのではないかと考えております。

また、八千代市観光協会ホームページのアクセス数につきましても、ホームページアクセスカウントページのトラブルにより3か月分の集計ができていなかったと報告を受けており、2022年度の数値が下がっておりますが、1か月のアクセス数の平均を取ると、アクセス数は上昇していることが推測できます。

今後とも、継続して数値目標達成に向けて取り組んで参ります。

観光振興計画の進捗管理については以上となります。

最後になりますが、「八千代市観光振興計画」25ページ及び「八千代市観光振興計画（概要版）」1ページ左下をご覧ください。

この計画において、八千代市の観光ビジョンとして、「おいでよ バラの香りと桜色のまち やちよ～花の観光都市～ 都心から気軽に訪れ 自然に触れ合える 身近な観光都市を目指します」と定めております。

コロナ禍においては、外出自粛要請があったため、市内の花や街並みをドローン撮影した動画をYouTubeで公開するなど、自宅に居ながら楽しめるような仕組みで、対外的に観光PRをしておりましたが、徐々にイベント等もコロナ禍以前のように再開されています。

今年は、3月の新川千本桜まつり、千葉ジェッツ八千代市民デーへの参加、6月の千葉県150周年イベント、10月の八千代どんと祭などに出展等の参加をいたしました。今後は、SNSと並行して、イベント等へも積極的に参加すること

で、観光振興計画のビジョン「花の観光都市」のPR、観光推進に努めて参ります。皆様からは、良いPR方法などご助言いただけますと幸いです。

来年度は計画の最終年度となります。計画についての検証、また、次期計画の策定等について検討してまいります。
私からの説明は、以上となります。

市川会長

ありがとうございました。

只今事務局より、観光振興計画に基づく取り組み状況等の説明がありましたが、皆様からご質問やご意見等ありますでしょうか。

積極的なご発言をよろしくお願いいたします。

樋口委員

観光船で道の駅やちよから平戸橋まで行かれたとのことですが、船はどちらから持って来て、船着き場はどこに設置されたのか教えていただけますでしょうか。

事務局（佐藤）

はい、船舶は潮来の会社から陸上で船を運んでいただきました。船着き場につきましては、農業交流センター側の川の擁壁のあたりに船を横づけした形で乗り降りしていただきました。

市川会長

樋口委員よろしいでしょうか。はい、他にございますでしょうか。

はい、杉山委員お願いします。

杉山副会長

観光協会の杉山でございます。八千代市観光振興計画に則って、花を中心とした観光資源を取り上げて、どうやって経済効果を上げていこうかというところですが、9月の彼岸花まつりも、観光協会と地域振興財団を中心に実行委員会形式で開催しました。

猛暑で若干開花時期がズレましたが、約2週間の祭り期間中は昨年同様の来場者がございます。今年はキッチンカーや地元商店さんに出展していただき、賑やかな祭りになったと思っております。開花時期がズレたためか、臨時駐車場としている芝生広場や交通整理をしておりましたが、近隣住民の皆さんやバスの運行にご迷惑は掛からなかったかなと思っております。

来年度以降、彼岸花がさらに周知されていくと、駐車場が足りなくなることも懸念しております。そういったところも行政と一緒に検討して対応を考えていきたいと思っております。

また、3月初旬に新川千本桜まつりとして、河津桜が咲く時期に、同じく観光協会も実行委員会に入って、イベントと夜のライトアップをして、多くの方にご来場いただくのですが、ライトアップは夜に行うため、ご来場した方は夜桜を見物していただくだけ、というか、経済効果にはまだうまく発展させることができておりません。そういったところ、皆様にもお知恵を拝借して、3月の桜まつりに反映させていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

市川会長

ありがとうございます。私の方から関連して少しお話しいたします。

彼岸花まつりが盛況だったということですが、非常に大きな観光資源の一つではないかと思っておりますが、村上緑地公園の彼岸花は、白とか黄色とかピンクとか様々な色がある点が、全国でも珍しいと思っております。今回の彼岸花のポスターが、赤い彼岸花だけの写真を使用されていた点が少し残念でしたが、様々な色があるということをポスターや色々な媒体にしっかりアピールができると更によかったかなと思います。

もう1点、夜桜のことですが、新川千本桜のライトアップは、川に鏡のように映りこむところがアピールポイントですので、その写真を多くの方に撮影してもらって、インスタグラムなりSNS等で発信していただくということが、恒常的に続くと、おのずと人が集まって、色んなビジネス展開も考えられるのではないかと思います。まずは、きれいな桜をどのように魅せるか、ということを考えていくと良いのかなと、補足して申し上げておきたいと思えます。

他にご意見等ございますでしょうか。

村山委員

新川千本桜の関係で、私が常日頃思っていることがあるのですが、新川沿いの遊歩道は、お客さんを迎え入れるのに適切ではないのではないかと思います。あれについて、誰か手を入れようとしている方はいらっしゃらないのでしょうか。

市川委員

はい、事務局からお願いいたします。

事務局（田中観光推進室長）

はい。今、村山委員が仰った件は、新川沿いに桜と遊歩道があって危ないという意味なのか、手を入れるというのがどういった意味なのか。

村山委員

でこぼこで危ないという意味です。

事務局（田中観光推進室長）

ありがとうございます。そちらは所管が観光推進室ではないので、今回懇談会でそういったご意見が出たことを担当部署に伝えておきますので、そちらでご了承ください。

市川会長

ちなみに私も同じような考えを持っているのですが、新川遊歩道は走る方や自転車で走る方など様々な方がいるわけで、観光の一番大事な点は、安全であることです。安全が確保されてこそ観光ができるわけで、村山委員のご意見は最もだと思います。ただ、河川敷などはもしかしたら国土交通省とか管轄が違うのかもしれませんが、その辺り担当部署を確かめていただき、一定程度の議論に巻き込んでいただけるといいかと思います。

その他、いかがでしょうか。

田久保委員

よろしいでしょうか。この観光振興計画を何度も読み返しをさせていただきました。八千代市の観光の現状把握をして、課題を抽出、整理をして、6つの基本方針を作られた。その6つの基本方針ごとに、基本的な施策は何パターンか、ご用意をさせていただいておりますが、結局、具体的にどう進めていくか、ということは走りながら考えましようというのが、この観光振興計画だったと思います。

これをあと1年数ヶ月でどこまで掘り起こしをできるか、というところが勝負だと思います。

この観光振興懇談会だけではなく、いろんな仕掛けをしないと、おそらく掘り起こしは難しい、足りないのではないかと思われるので、懇談会プラス何が出来るかということをお我々それから観光推進室と考えていく必要があると感じております。

中途半端な話になって申し訳ないですが、以上です。

市川会長

ありがとうございます。事務局から今のご発言に対して何かございますか。

事務局（田中観光推進室長）

先ほどの事務局からの説明にもありましたが、今年の5月まではコロナでなかなかイベントができないという状況で、これから色々PR、集客をしたいというような形で考えております。

どうしても行政側、私達としては紙媒体でのPRが多く、やはりノウハウがあまりないので、インターネットを使って、どうやってSNS等で集客をしていったら良いかというのを、本日は委員の皆様からご教示いただけると幸いです。

特に京成バラ園さんや観光協会さんは色々ノウハウをお持ちなのかなと思っておりまして、他の委員の皆様からも、こんな風にしたら良いです、というご意見やアドバイスをいただけたらと思っておりますので、よろしく願いいたします。

市川会長

ありがとうございます。

基本的に私も同感ですが、コロナ禍でほとんど立ち往生していました。これは八千代市だけでなく、ほとんどの市町村が立ち止まっている状況だったと思います。いかにこの急場を切り抜けて、その次のV字回復に向けた準備をしていくか、という状況だったのではないかと思います。

田中室長よりありました件につきましては、後程、皆様から、こういった手法でプロモーションができるのではないかと、ということをお聞きしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

では、田久保委員よろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。

そのほかにもございますでしょうか。土屋委員、いかがでしょうか。

土屋委員

まだ考えがまとまっていませんが、先ほど SNSの利用についてお話があり、この数値目標管理で、Y o u T u b eの再生回数やココシルやちよのアクセス数の記載がありますが、インスタグラムとかX（旧ツイッター）などでの広報は行っているのでしょうか。

事務局（長谷川）

はい、インスタグラム、X（旧ツイッター）については、観光推進室ではなくシティプロモーション課や広報広聴課でアカウントを作成し発信しています。

田久保委員

観光協会は、F a c e b o o kとインスタグラムで広報活動をしております。逆にホームページの方は、予算が厳しいところがあり、もう少しフラッシュバックしたいのですが残念ながら出来ておらず、今はインスタグラムとF a c e b o o kを中心に活用しています。

土屋委員

ありがとうございます。若い世代としては、インスタグラムやX（旧ツイッター）からの方が情報を得やすいイメージを持っているので、ホームページなどに注力するよりは、まず入口が広いほうが良いなと思うので、インスタグラムなどを活用していただきたいなと思います。

ちゃんとした情報ではないのですが、成田市のうなり君というキャラクターがいるのですが、うなり君が成田市の観光地に行って写真を撮って、インスタグラムかX（旧ツイッター）でPRをしていて、可愛らしいフォルムと、行ってみたいと思わせるような文章をつけているので、今度成田に行く時はここに行こうかな、と思う人が多いのかなと思います。八千代市にもやっちがいるので、そういったことも出来たら良いのかなと思いました。

市川会長

ありがとうございました。

基本的にZ世代については、やはりインスタグラムを中心に、観光情報を集めているという基本的なスタンスもありますので、それに即した土屋委員のご意見だったと思います。ありがとうございました。

その他にございますか。ないようであれば、各委員から出された意見等につきまして、私議長で集約しまして、本懇談会として市に進言させていただきたいと思っておりますので、各委員の皆様よろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。

それでは議題は以上となります。

続きまして次第6『その他』ということで、先ほど田中室長からもお話もありましたように、委員の皆様から議題及び報告事項等を踏まえ、一言ずつ、観光振興に対するご意見、或いは各所属での観光関連の取り組み、特にプロモーションの手法について、こんなことをして人が集まっている、など、そういったことございましたら、参考までにお聞かせいただけますと、大変ありがたいなと思います。

それでは田久保委員から、よろしく願いいたします。

田久保委員

はい、田久保です。

まず、商工会議所という団体と、観光で、何で繋がっているのだろうと思われる方もいらっしゃると思いますので、少し簡単にお話させていただきます。

八千代商工会議所の定款に、商工業に関して観光事業の改善発達に図ること、と明確に書かれておりますので、事業計画の中にも観光に関することを毎年載せています。

特に力を入れているところは、地域活性化事業の一つとして、先ほどお話が出ましたが、八千代ふるさと親子祭、或いは源右衛門祭、八千代どーんと祭の事務局、支援活動です。商業、工業、振興事業の中で、やっちブランドセレクションの認定作業の事務局としての役割を担っている、等々の活動をしております。

また細かいところは、事務局長の高橋さんからお話があるかもしれませんが、産学官の連携事業としても、やちパンプロジェクト、和洋女子大学とのそば事業をやっております、その事務局も商工会議所の方で受けています。

あくまで商工業を絡めながら、連携しながら、観光に資することとして何ができるかということテーマに活動しているところでございます。

主催事業としては、ご当地グルメ「八千代カレー」にもスポットを当てて、観光資源として何か成長できるかなと思っているところと、先日、10月23日に千葉県商工会議所連合会がありまして、千葉県内21商工会議所がございまして、千葉県知事に対して、千葉県内の商工会議所として毎年要望書を提出しております。新聞にも写真が載っております。

その中で、今年は観光について、大きくテーマを取り上げて要望しておりますので、時間の関係で全部は読めませんが、「広域的な観光振興、誘客の促進について」という大項目で3つのテーマで県に要望しています。

1つ目が、地域連携DMOによる観光振興、これにご協力いただけませんかという要望です。2つ目は、観光資源の掘り起こしと磨き上げです。3つ目が、観光客の受け入れ環境の整備です。それぞれ少し細かくコメントが出ていますが、この3点を商工会議所の連合会として、県に要請をしております。

おそらく何らかの回答が随時上がってくるかと思っておりますので、把握できましたら、また懇談会等でご報告をさせていただければと思います。

以上です。

市川会長

ありがとうございました。

引き続きまして、高橋委員お願いします。

高橋委員

はい。

商工会議所としては地域活性化に資するということで、労働者や企業様のお立場を守りながら、イベントもやりつつということで、田久保委員からもお話がありましたようにイベントにも携わっております。

ただ、やはりイベントをするにもお金がかかるといったところで、例えば千葉県最低賃金につきまして、平成元年度は503円でした。10年前が777円で、現在は1,026円、10年前に比べて32%上がっております。

観光といって思い浮かべられるディズニーランドですが、約40年前の入園料は3,900円、約10年前が6,400円、現在は変動価格制ですが10,900円ということで、10年前から約70%アップしており、やはり観光にはお金がかかるなと思えました。

人件費も上がっていますが、八千代ふるさと親子祭も10年前、花火5,000発で同じようにやっておりましたが、総事業費は3,550万円でした。総事業費に対して花火費用は大体3割ぐらいでした。令和元年のふるさと親子祭は総事業費が5,000万円程に上がっており、約3割が花火費用でした。

直近の令和5年のふるさと親子祭では花火5,000発を打ち上げましたが、総事業費が5300万円に上がりまして、10年前に比べて、安全対策に関する費用は1.8倍ほど、設営費用も1.7倍ほど上がっております。そして、総事業費に対して、花火費用が約19%しかなく、それ以外の81%は警備や設営費がかかっている状況です。人件費が非常に上がっていますし、コロナによって消毒の必要性や、安全対策、人の安全、細かいところで、トイレも小さい子は和式トイレが使えませんので全部洋式にしなければいけない、とか、おもてなしをするにはお金がか

かります。安全にもお金がかかる，警備員さんも必要，本当に観光，おもてなしには，お金かかる，ということを理解しなくては，なかなか出来ないのかなと思います。

また，ボランティアさんの力も借りて，沢山のことをやらないと，おもてなしは出来ないということは，事務局をされていて思いますので，そこら辺も皆様のお知恵をいただきたいと思います。

長くなりましたが，以上です。

市川会長

はい。ありがとうございました。

今回のふるさと親子祭について，先ほど事務局からも17万人位の方がお見えになったということでしたが，何か特別なプロモーションはされたのでしょうか。

高橋委員

はい。

実行委員会の方と協力して進めていたのですが，例年であれば，前年度からお祭りの準備をある程度進めていくのですが，今年は5月になるまで，コロナが5類感染症に位置づけが変わるのか，その状況が分かるまで，正式に祭の開催決定ができませんでしたので，今回特別なプロモーションは特にしていません。できなかった，というのが正直なところです。

お金が掛かることですので，前年度に予算取りをして翌年の4月以降の事業計画を立てるところですが，コロナの状況が読めなかったので，出店なども約束が出来ない，今回は辞退したいというお店もありました。

八千代の祭りの前に，都内の祭りや花火大会の開催状況でも，終電に乗れず帰れない，帰宅困難者が出たとか，そういった報道があり，今回は特別なPRはしていないのに，想像以上の人が来たということに我々も驚いている状況でした。

市川会長

ありがとうございました。

質問の意図としては，先ほどの人口ビジョンの話で微増が続く，令和11年まで続く，という話がありましたので，市民の方にお祭りの情報をタイムリーにもっと流すべきではないかと。要は新しく住み始めた人達が，この街に何があるのか，市内をグルグル回ってもらうような形で，先ほどの花についても同様で，新しく住み始めた人に，しっかりと情報を知ってもらうことが今後必要かなと感じました。

ありがとうございます。
それでは次，村山委員お願いします。

村山委員

はい。私の方からは農業の面でお話をさせていただきます。

この観光振興計画を見ていると，八千代市の農業というところ，今，八千代市が農業振興地域の見直しを行っているところですが，おそらく南部と北部とでは，北部が農業振興地域という区域分けになると思っています。

農業交流センターの辺りを見ていただくと分かりますが，あそこは農業での観光を成り立たせようという場所のはずなのかと。ですから，サツマイモ掘り体験，稲刈り体験，それからブルーベリー狩り，いちご狩りなど，これも観光の財源であると思います。そういうものも観光財源になる，という認識を強めていただいて，アピールしていくという方向性を皆さんにつけていただけないかなと思っています。

というのは，桑橋，寺台，それから高本地区で，今，国の予算を使って基盤整備事業を行う予定です。田んぼの区画を大きく割り直して，綺麗な田んぼでお米を作ろうというのが通常の基盤整備ですが，その計画を国が認めるためには，一部田んぼを畑に転用して高収益作物を作ること，それから観光部門等も入れること，となっており，これは高収益に関連するので，必ず観光部門である必要はないのですが，選択がやはり八千代西，緑が丘西の近辺になりますので，観光部門に手を入れるということ今動いています。

そうなりますと，法人島田さんや農業交流センターのようなことを目論んでいるわけです。八千代にそういう場所が増えてくるということなので，これはぜひ観光の一部として，もっと宣伝していくべきじゃないかなと思っています。

八千代市にはいちご狩りができる農園が沢山増えています。昔館山にいちご狩りに行った人も多いのではないのでしょうか。あの辺りは田んぼを転作して，いちご狩りで売った場所です。八千代市も今それになぞらえるように，いちご農園を行う組合員数が非常に増えています。

ですから，これもまとまってくれさえすれば，観光としては非常に有意義な財源なんじゃないかなと思っています。今現在，農家たちは自分でインスタグラム，X（旧ツイッター），もしくはココシルもそうですが，るるぶとか，そういうものに自分で宣伝しています。農協の仕事でもあるのですが，市内のいちご狩り施設をまとめて，八千代市の観光として売れたらいいのかなと，私は思っていますので，もし時間があるようでしたら，そういったことも検討していただけたら嬉しいなと思っています。

市川会長

ありがとうございました。

計画の基本方針の3「新たな観光資源の発掘」や基本方針4「自然環境を利活用した観光の推進」にも当てはまりますし、もともと私もいちご狩りをしましたし、私はサツマイモ掘り体験はやっていないのですが、この計画を立てるときにモニターの方を集めて調査をした際に、雨が降ってしまってサツマイモ掘り体験は出来なかったのですが、来ていただいた方はそれを一番楽しみにしていたというアンケートもありまして、グリーンツーリズムという範疇になります。八千代市の今後の強みでもありますので、是非ともその新しい観光資源を作っていければ良いなと個人的に思います。

ありがとうございました。

次、杉山委員の順番ですが、土屋委員が15時45分でご退席されるということですので、土屋委員から先に一言いただいてよろしいでしょうか。

土屋委員

はい。沢山お話を伺って勉強させていただきました。ありがとうございます。

グリーンツーリズムに強い八千代だなと感じたのですが、農業があったら、そのあと食に繋がってくるのかなと思っていて、最近、八千代市内の個人でやってらっしゃるレストランなどに行く機会が多くて、本当に素敵なお食事を出されていて、八千代の野菜です、というのを強く押している方もいらっしゃいます。

先日、八千代カレーをやっていた際も、紙媒体の情報が多くて、インスタグラムにも載っていたら良いのに、とすごく感じました。

それこそ農業もそうですし、食に関しても、八千代には良い所が沢山あると思いますので、官民と地域の連携を強めていけたらなと思っております。

以上です。

市川会長

ありがとうございました。

それでは引き続き、杉山委員お願いいたします。

杉山副会長

はい。

八千代市観光協会は、事務局を八千代市からお借りしておりますが、観光協会独自では運営するのに、ボランティアに頼っている状態です。正規の事務局ではないので、単独で何か事業ができるかというところが非常に難しいところです。

実行委員会形式で花に関するお祭りはやっておりますけれども、観光協会自体でやっている事業は、八千代市の歴史観光講座です。すでに何講座かやっておりますが、40人位の定員で、ほぼ毎回満員の参加者がございます。八千代市の歴史について、市民の皆様、もしくは他市から参加される方もいらっしゃいますので、引き続き八千代浪漫紀行という名称でやっていきたいと思っております。

それから40年程前から、八千代市郷土歴史研究会で八福神巡りを作っていただきましたが、観光協会が引き継いで観光事業としてやっております。来年1月7日にも正月の八福神巡りをマイクロバスで20名程度しか乗れませんが、そういった事業も企画しております。

やはり観光協会に対する行政の考え方として、他市の例を見ると観光に対して予算付けがされているように思います。先ほど観光船のお話も出しましたが、観光船は事業として利益が出るかと言えば、非常に難しい事業かも知れませんが、せっかく、県が川まちづくりの一環として、船着場の計画をされておりますので、地元の行政とすれば、そこに付随する船着場、浮棧橋は地元の自治体が設備をすることになっているようですので、そういったことへの予算付けや、将来的には観光船を運行するに当たって、どのような規模にするのかとか、そういったことを観光協会に担わせようとするのか、など行政自体の計画や施策がないと我々としても計画を一緒に進めていこうとはならないのかなと思っております。

あともう1点最後に、防災道の駅のお話ですが、千葉県で唯一、防災道の駅に指定されたということですので、整備状況について見えづらいところがありましたので、もう少し具体的に計画が進んでいるのであれば知りたいなと思っております。また、平常時は観光目的でも利用できるよという話もありますが、ふるさとステーションにしても農業交流センターにしても、今のところ農業関係の目的でしか使用が難しいという状況ですので、その辺の整備も行政には求めていかなければならないのかなと思っておりますので、一応観光協会としてはそのような対応をとっております。

以上でございます。

市川会長

ありがとうございました。

事務局の方から防災道の駅の情報などはございますでしょうか。

加藤経済環境部長

防災道の駅につきましては、現在、基本計画を作っております。来年度、実施計画を作り、令和7年度に工事を着手するような形でございます。ふるさとステーション側の施設が古いということで、そのリニューアルからまず始めるということです。また機会があるごとに皆様にも情報を提供できればと思いますのでよろしくお願いいたします。

市川会長

ありがとうございました。

そこに観光的なエッセンスを入れていく、観光関係の方が入る余地があるように何らかの具現化をしていかなければ、こういうことで決まりました、実行します、と言われたところには、なかなか入りづらいかと思っておりますので、是非そのようなご判断もお願いできればなと思っております。

また、先ほど杉山委員からございましたように、私もずっと観光協会さんを見させていただいて、ボランティアでよく頑張っているなどいつも思っております。そういった点では、市の財政も厳しいとは思いますが、予算化に踏み込んでいただいて、一定程度そういった支援の糸口がないと、しっかりした活動も今後継続できないということも考えられますので、特段のご配慮をお願いできればと個人的に思っております。よろしく申し上げます。

それでは渡邊委員お願いします。

渡邊委員

先ほど事務局からお話ございましたプロモーションについて、どうしていくのが良いのかという点に関し、皆さんご興味があるのかなと思っております。

ご参考になるか分かりませんが、私が就任したのが今から2年半前になりますが、最近の京成バラ園は随分と雰囲気変わったなと感じられる方もいらっしゃるのではないかと思います。

従来のただ単にバラを見せるだけではバラ園まで足を運んで頂くことが非常に難しくなっているのが現状です。始まりを遡るとバラが趣味の男性がメインだった様ですが、そこから女性にも広まりました。そして現在は当時のバラ愛好家の高齢化が進んでいます。当社はバラ園だけではなく、バラの販売をする実店舗のガーデンセンターがあり、そして、お土産を販売しているローズショップもあり、結局のところ、総体的な来園者数、来店者数が下がってしまっていたという現実がありました。

そこで、まずターゲティングを「大人女子」とし、20代から40代、50代近くまでの女性にターゲットを当てました。本日の配布チラシにもありますが、例えばメリーゴーランド、光とバラのインスタレーション、そして、アリスツアーズの名称でオープンした電動自転車に乗って楽しんでもらうアトラクションなどを展開してきました。今秋は展望台を設置するなどして、お客様に「体験」して貰えるアトラクションを増やしています。お客様自身も用意されたものを全てポンと置かれるよりも、ご自身で何か少しでも体験したい、ということに興味をお持ちのようです。

先ほど、高橋委員からもお話がありました通り、観光業にはお金が掛かります。スクラップアンドビルドを繰り返しては、お金が幾らあっても足りないので、小さく産んで、それをじっくりと計画的に大きく育てていくことを念頭に動いています。

プロモーションと箱物はどちらが先か、私はやはり最初は箱物だと思います。小さく産んで、それに対しプロモーションを仕掛けつつ、同時並行でまた新しいもの作り、プロモーションを仕掛けていくという繰り返して、最初は小さいが、それをちよつとずつ大きくしていく。それが観光業なのではないかなと最近思っている次第です。

その様な意味で、先ほど土屋委員からもお話ありましたが、プロモーションが非常に大事であると思います。当園では大人女子をターゲットにしておりますが、女性が来ると男性も来ます。男性もやはりネット世代で、スマホやタブレットでインスタグラム、Facebook、X（旧ツイッター）を見るので、その点は非常に費用対効果が高いです。この3つのSNSに軸足を置いています。

京成バラ園では夏のナイトイベントを実施しておりますが、今年の夏で3回目となりました。毎回ご盛況頂いておりますが、今夏は入口と出口の2箇所でアンケートを聴取しました。出口では何のコンテンツが良かったか、入口では何を見てご来援頂いたか、SNSなのか、駅のポスターなのか、ホームページなのか、来園者の方にシールを貼って頂きました。圧倒的に多かったのはインスタグラムを見て来園された方でした。京成バラ園に関しては、SNSの中でもインスタグラムが飛び抜けており、X（旧ツイッター）やFacebookは少々といった感じです。

まず何の媒体が顧客に一番リーチが掛かり易いかを見極め、そこに資源を投下していくのが最良かと思えます。

別途、再生想起率という言葉が良く使われますが、「バラと言えは何処を思い浮かべますか」、それに対して「京成バラ園」と言って頂ける様、再生想起率を高めていくことも重点課題となっています。

京成バラ園をまず先に思い浮かべて頂き、更に来園頂くために、リーチを掛けに行く。そのためには、やはりプロモーションに関してはある程度のお金を掛ける必要があります。別途、八千代市長にメディア内覧会に来て頂いておりますが、メデ

イア内覧会は、お金を払わずにテレビ局を呼ぶことが可能となる施策のため、非常に大事にしています。やはり、テレビのインパクトは非常に大きいです。いかにお金を掛けずメディアを呼び込むか、ここも力点を置いた対応が必要ではないかと考えております。

市川会長

ありがとうございました。大変鋭いお話でした。

観光という現場で、どのようなターゲティングをするかという点では、やはり女性をメインターゲットにすることは必須です。女性をターゲットにすると3つ大きな点がありまして、1つは男性よりも発信性が高いということです。先ほどインスタグラムの話がありましたが、何か良いものがあると写真を撮ってどんどん発信するというところが、男性と段違いというところ、2つめは財布の紐を握っているのは結局女性という点です。3点目は、女性をターゲットにすると男性を連れてくるというところ。そういった点でいくとターゲティングがど真ん中という感じがしました。

あと、自分も先日バラ園へ行きましたが本当に雰囲気が変わったなど実感しました。この場所から見てくださいという撮影スポット、一番見せたい綺麗な場面を持っていますので、今回の展望台は非常に素晴らしいと思いますし、園内奥のスペースを使ってエンターテイメント化したこと、或いはいちご狩りに踏み込んだことなどは非常に素晴らしい取り組みだと実感しています。引き続き頑張っていたきたいなと思います。

それでは樋口委員をお願いします。

樋口委員

今回3つ気になった点がありましたのでお話をさせていただきます。

1つが農業のお話、2つ目は広域DMOというキーワードが出ましたのでこちら、3つ目はイベントの再構築というところをお話させていただきます。

最初に農業の話からいきますと、私の学生が荻原園芸のそば畑のそば粉を買って、今回の学園祭で学生がそば打ちを教えるということを始めました。地べたに入ったことをやっていかないと進まないと思ったので、今仕掛けようと思っていることが、学生のインターンシップを農家に行ってもらおうということです。それを観光とか集客とかマーケティングを学びながらできないかを考えて動いています。それによって、シビックプライドが高まると思いますので、観光振興計画の中にも資すると思いました。

2つ目が広域DMOということで、さきほどの船の話で、もう少し行けば佐倉まで行けるので、佐倉との広域DMOで、向こうが持っている船を使わせてもらって、行ったり来たりするとかだと、退屈だという点については、退屈だから良いと逆に言い切れることをやってみて、逆手に取るやり方もあるかもしれないかなと。今、広域DMOが動いているので、それに乗ってみるのはちょうど良いのかなと思いました。

3つ目はイベントの再構築についてですが、イベントは正直人がいないとできずイベントに走りすぎると疲弊していきます。これから農業との連携や広域DMOなど、新しくやろうとしていることがあるならば、もうイベントをたたんで、イベントに使っていたエネルギーを新しいところで使わないとできないと思います。今、コロナでイベントをたたむチャンスといえどチャンスで、別に悪い話ではないと思います。進化していくためのたたみ方なので、そういったことをこれからの計画に少しずつ入れていくことも考えた方が良いのかなと思いました。

以上です。

市川会長

ありがとうございました。

樋口委員から退屈を楽しむという非常に面白い話が出ましたが、何もないことを楽しめるかということですが、旅行に行きたいという人の中のほぼ半分以上が、旅行に癒しを求めますというようです。

実は私1ヶ月ほど前に、福島県の只見川の霧幻峡の渡し船に乗りまして、只見川を30～40分船に乗るのですが、何もないようなところで、船頭さんの話を聞きながら船上で過ごすのですが、リフレッシュできるということで、台湾の人とか海外の人がそこに押し寄せている状況でした。私も船に乗らせていただいて、何もないので時間を持て余すかと思っていたのですが、逆説的に船時間を楽しみましょう、といった観点で船をうまく利活用するという方法、手段もあるかなと感じましたので補足させてください。

樋口委員、ありがとうございました。

皆様からご意見をいただきましたが、さらに何かお話ししたいことなどございますか。

特にないようであれば以上となります。

最後に事務局から何かございますか。

事務局（長谷川）

事務局からは連絡事項がございます。

本日参考資料としてお配りしているパンフレット等につきましては、現在開催中のイベント等のお知らせでございますので、是非ご覧ください。

また、次回の会議につきましては未定でございます。開催日程等が決まり次第、開催通知をお送りいたしますのでよろしくお願ひします。

それでは、最後に事務局の観光推進室の田中室長より、一言お願ひいたします。

田中室長

皆様、本日は、長時間に渡り、貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。今年度、第1回目ということでしたが、皆様からいただきましたご意見を参考に、進捗状況や次期計画について色々と検討させていただきます。本日はありがとうございました。

市川会長

それでは、本日の会議を終了いたします。

これで、令和5年度第1回八千代市観光振興懇談会を閉会させていただきます。本日は、忌憚のない積極的なご意見を頂戴いたしまして、ありがとうございました。

————— 閉 会 —————